



# とら ま ん

にゆうたいふ研究所  
漫画・イラスト©理

18 十八歳未満  
購入禁止



にゅうたいふ研究所  
漫画・イラスト©理



十八歳未満  
購入禁止

※申し訳ありませんが、この本には、ツンデレな虎の子は入っておりません。  
また、うっかりどじっこな主人とそれを見てニヤニヤする監視役の繰り広げる  
らぶでコメな要素なんぞは皆無です。もちろん  
「星は私のだあああああ！誰もさわるんじやなあああああい！」  
なんて台詞を吐いたりもございません。  
表紙と違って、けっこう鬱々真っ盛りな話となっておりますので、  
内容をよくご確認の上、用法容量を守って正しくお使いください。  
作者はとらドラ大好きです。



そのような申し出  
受けるはず  
ないでしょう

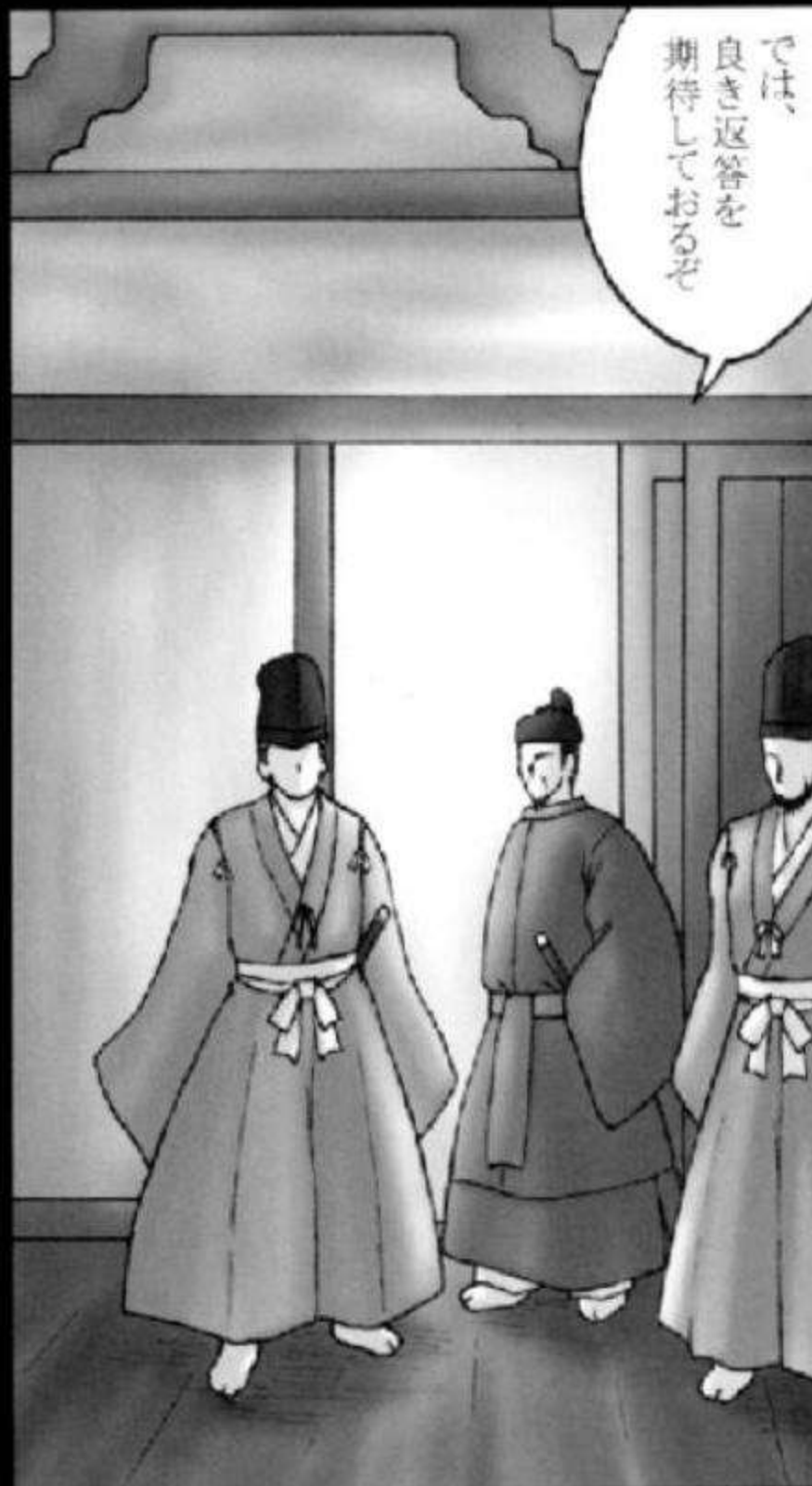
ホホホ  
なにもそう邪険に  
せずとも  
よいではないか

むしろ聖のための  
助け舟を出して  
おるのですぞ？

聖だけではない  
陰陽師共の調へで  
こゝに妖の類が  
よく出入りして  
いることや、

そなた自身が  
人ではないという  
ことも知れておる

それでは  
まるで慰み者、  
費のような  
ものです



ナズーリン…  
聞いていた  
のですか

明らかな  
異です!



あんな奴等  
の言うことなんて  
信じられない  
わけがない!

あの程度の奴等  
我らの力を持って  
すれば…



よいのですよ  
ナズーリン

彼らの申し出を  
私を受け入れ  
さえすればよい



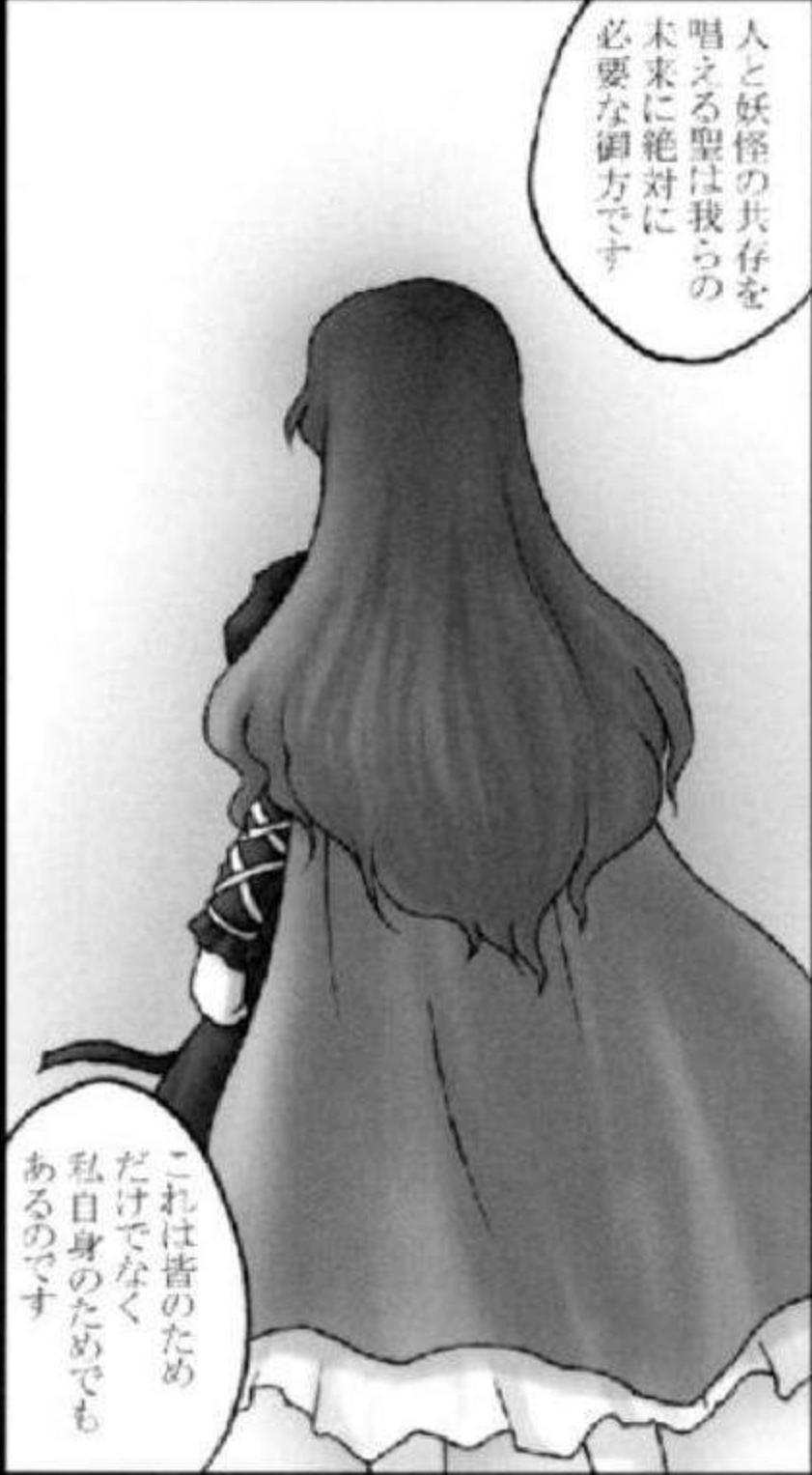
ただ、  
それだけ  
のこと

ご主人…  
でもあいつらが  
約束をも守る  
保障なんて



ナズーリン

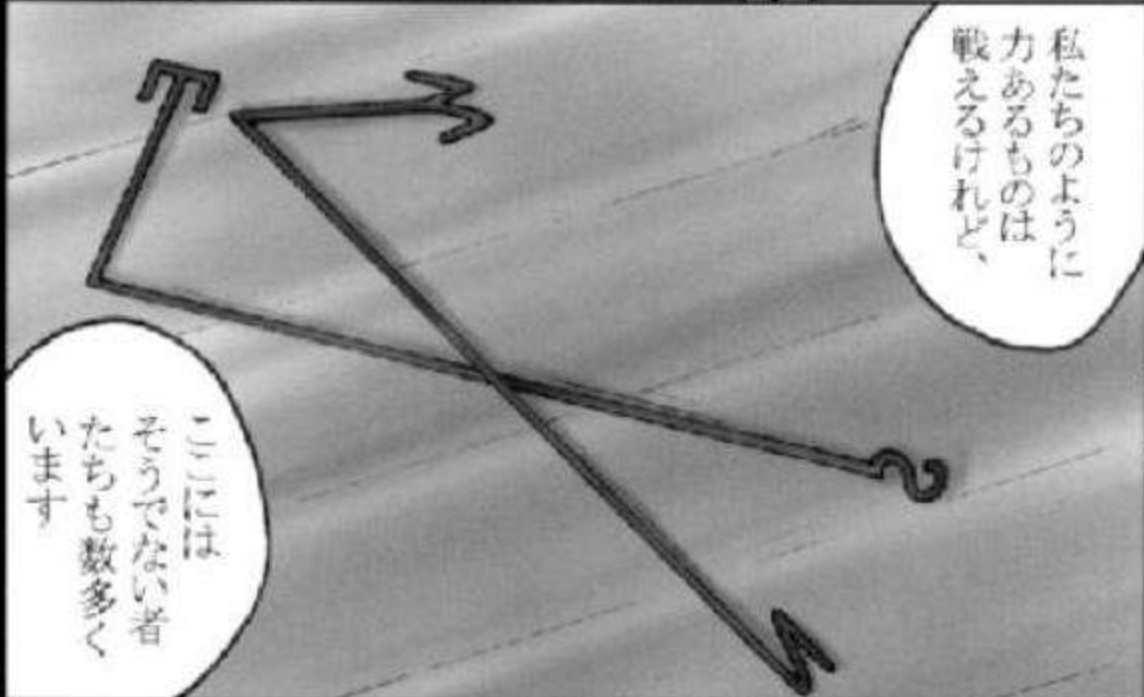
人と妖怪の共存を  
唱える聖は我らの  
未来に絶対  
必要な御方です



これは皆のため  
だけでなく  
私自身のためでも  
あるのです



でも、  
それでも  
これはっ!



ほっほっほ  
まさか本当に  
誘いに応じ  
られるとは

本当に聖を  
助けてくださる  
のですね？

これほどまでに  
妖怪に慕われるとは  
いやはや、聖殿も  
不可思議な御方よ

まあ、それも  
その方の誠意  
次第じゃがのう

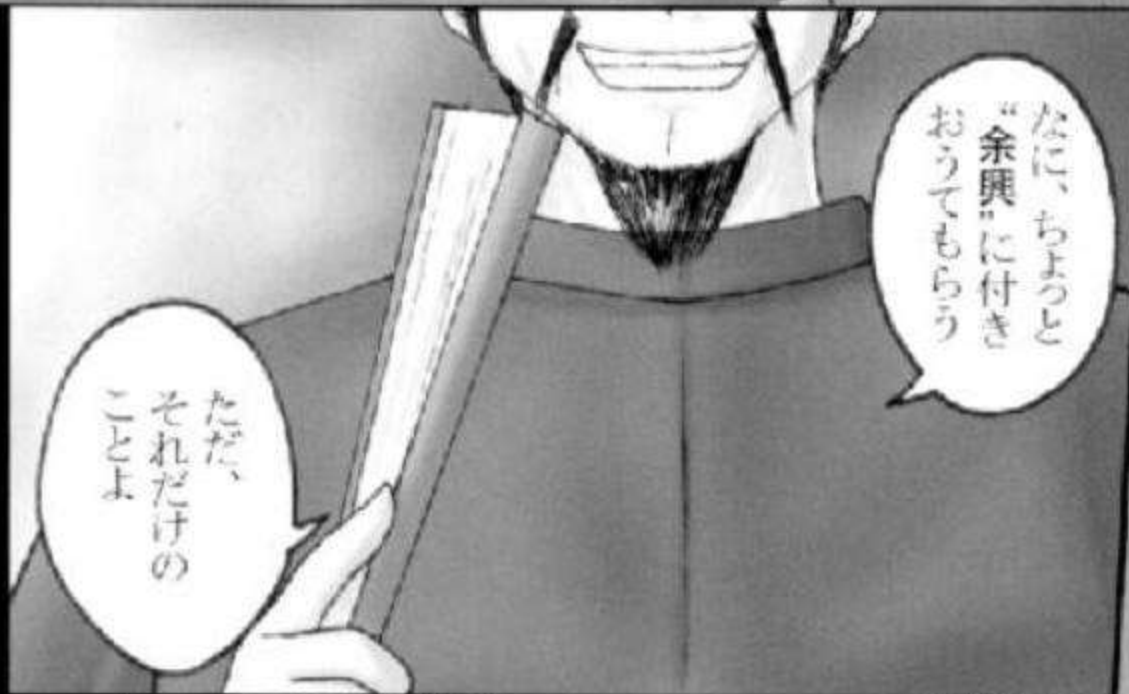
私に何をしろと  
言うのです？

なに、ちよつと  
“余興”に付き  
おうてもらおう

ただ、  
それだけの  
ことよ

これも、人との  
和を説かれる  
聖のため……

……好きに  
なさると良い





ではお前達、  
可愛がつて  
おやり

んっ…

ふあ

ひくっ

おにゅ

さわ

さわ

なんですか  
こ、これは  
何をしようど…

さつきから  
胸を執拗に…  
お、おかしな感覚ですね

あっ

んっ

ふる

ムニユ

ムニユ

わ、わからないが  
この程度の行為如きで、  
屈するわけには…

この、程度の  
行為如き…

むにゅ

むにゅ

ひくっ



おやおや  
このような物を  
お召しで  
いらつしやるとは

ふる  
ふる

うう…  
なんたる  
屈辱的行為



これお前達、  
どうやら少々  
物足りぬご様子、

なに!?  
ぞ、  
そんな  
直に触れて  
差し上げると  
よかろう

ま、まで  
これ以上は  
その、

ほう、こゝで  
お止めになると?  
それならば…

うへー



しかし、この場で  
そのようなものは  
不要、故に

え、ええ  
だめ、だめ  
です!

取り去って  
しまうのが  
よいであろう

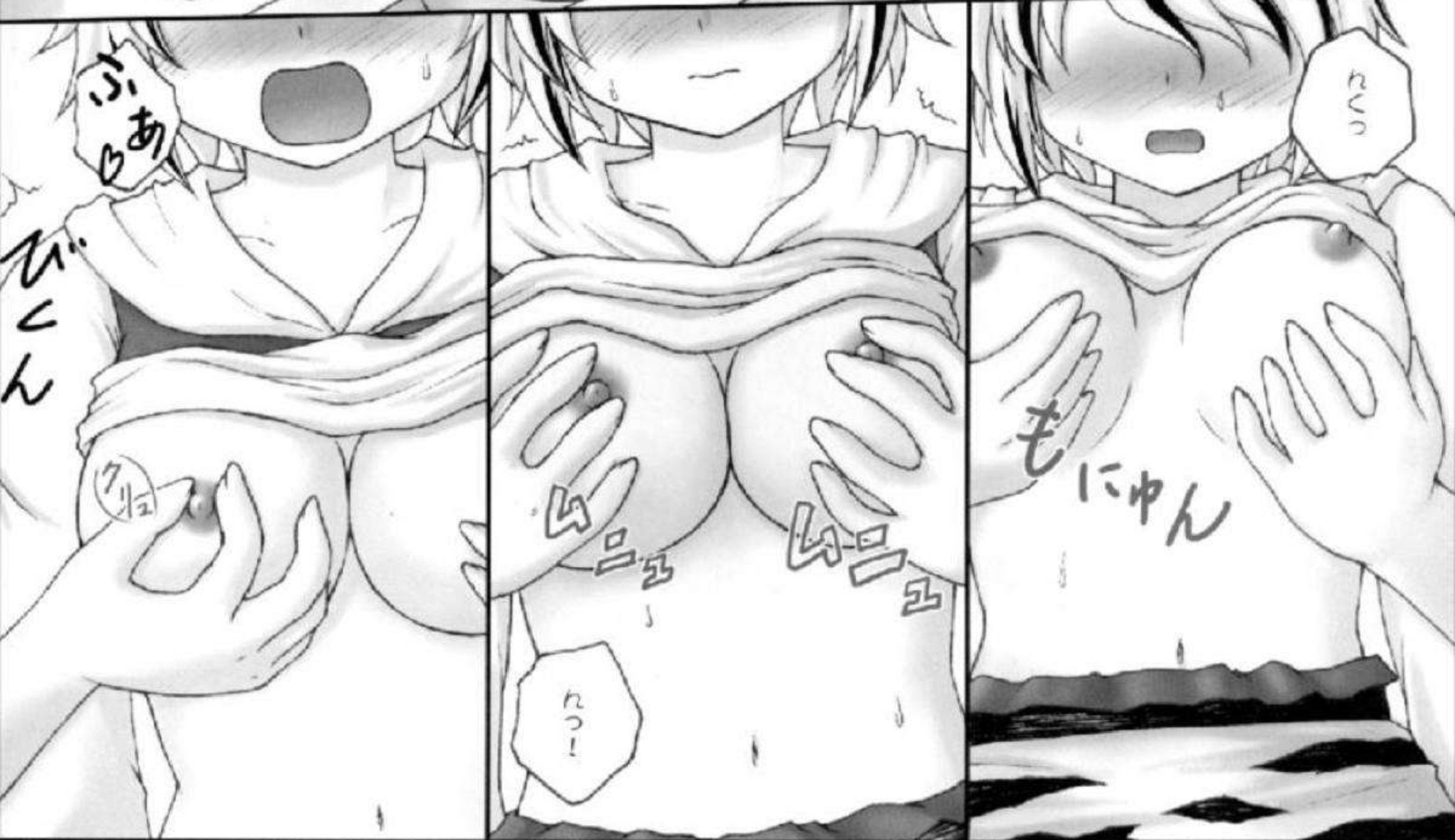
しゅるっ

びん

これはこれは…  
なかなか立派な  
ものをお持ちの  
ようで

いっ  
るん♡

うっ…  
ぞ、ぞらな  
言い方って



ふあ♡

びゅん

クリュ

もも

もも

もにゅん

んっ!

んっ

ふむ、どうやら  
このような刺激には  
慣れておらぬ  
ようじゃの

はあ

びゅん

びゅん

おやおや急に  
大人しくなつて  
しまわれて…

はあ

こゝこれは、  
いったい  
何なのですか?

体から、力が  
抜けていくような…

ホホ、そのうち  
それが快感に  
変わるのじゃよ

ささ、  
少々暑く  
なってきたのう

ズッ

涼しくして  
差し上げる  
が良いぞ

え、  
エッ!?

だ、だめぞ、  
それ以上は...

うう...  
ごんなのって、  
あり得ません...

ふる

ふる

まあまあ  
気にせず我らに  
任せるが良い

すっくっ♡



ほう、もうこれほどまでに濡れそぼっておられるとは

ふえ、ぬれて?

あーいっやあ

もみ

もみ

しゅゅ

しゅゅ

しゅゅ

ぴゅん

ふむ、いきなりこれほどとは...少々淫乱の気ありと見える

ひゃん、そ、そんなところ

な、なんなのですこれは、先ほどよりも、もっと

にゅゅ びゅ

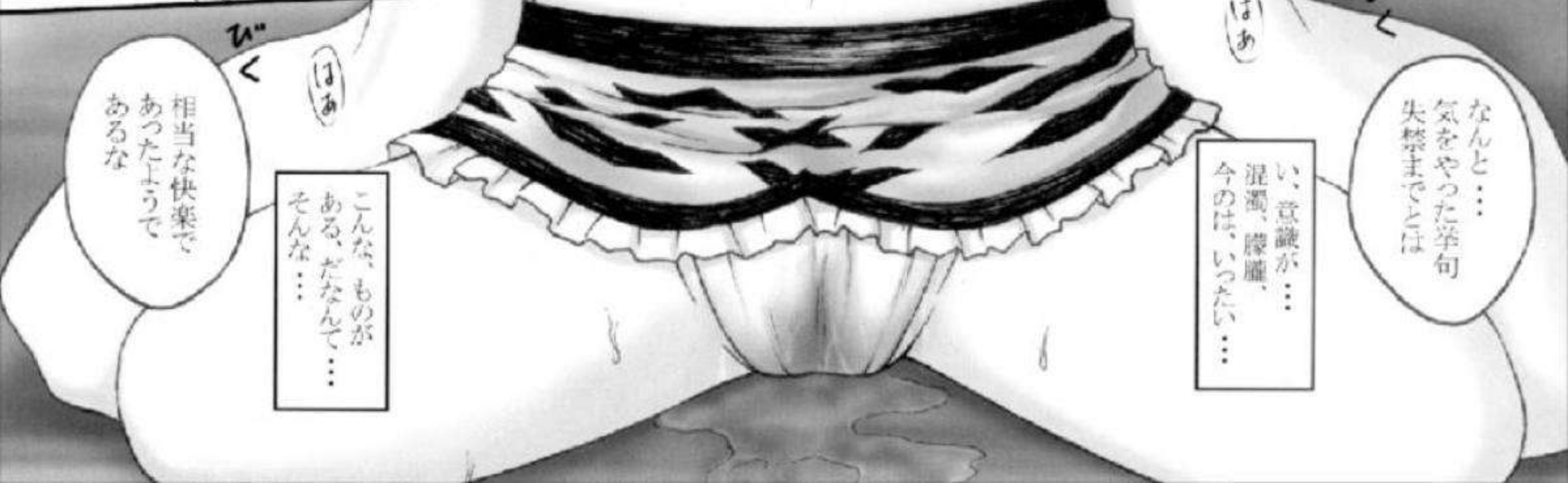
しゅゅ

ぬゅゅ

しゅゅ

いったい何が... 体、熱く、熱くて胸が苦しい...

びゅ



慣れぬ快感に  
心ここにあらず  
と言ったところか

そろそろ  
御開帳と  
いきましようぞ

13

14

ぬちゅー

ひゃうー!  
ま、待って  
今そこは、

なかなか  
きれいな色  
しておられる

ホッホッホ、  
逆らわれるか?  
ま、多少は抵抗の  
あった方が面白  
もあるがのう

くー  
いよあ♡

はぐっ  
んぞあ

とろっ



ワシも見ているだけというのも退屈してきたとニコじやの

ぬっ

え、え、何ですそれって!?



ふむ、これだけ濡れておれば準備万端かの



やだ... こんなにど本気でいや...です

ホッホッホ、こんなにはビクついておるとはのう

無理、こんなもの

ぴと

では参るとするか



ふんふん

うんあひっんああ

やだ、はいって

スプスプ



びくん

ああ、ああ...

ふちゅ

ぬぬ



はい

はい

ちゅ

ぬゅ

ぬゅ

ぬゅ



おお  
ああ  
ああ  
ああ

ブ  
ブ  
ブ  
ブ  
ブ  
ブ

あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ



これはこれは  
なんという  
ことであるか

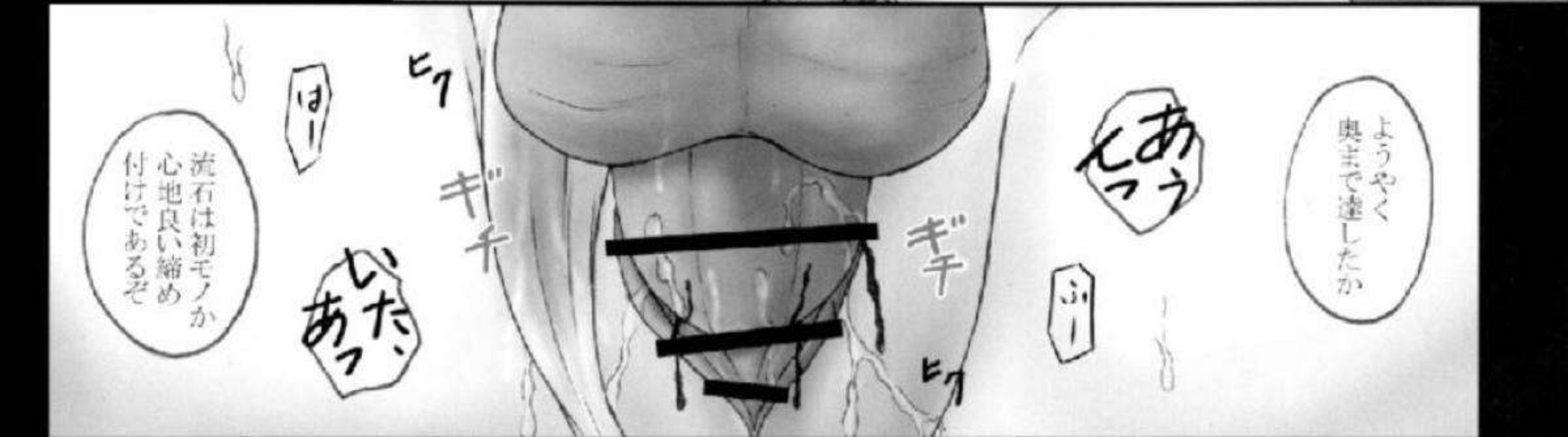
あ  
ガ

ガ  
ほう

妖怪の  
初モノとは、  
あな珍し

うん  
あ

いたい、いたい！  
こんなの、  
こんなのって！



ようやく  
奥まで達したか

あ  
う

ギ  
チ

いた  
あ

流石は初モノか  
心地良い締め  
付けであるぞ

ち、ちやう  
やめ、こ  
こぼさ、い

はあ

うん、うん

そ、それは...  
あぐっ

はあ

はあ

ガッ

ガッ

はあ

おや？聖を  
助けるのでは  
ないのかのう

むぐぐ  
うああ  
ああ

ぎぢゅ

ズ  
ヌ  
ヌ

じぢゅ

じぢゅ

ほうほう、  
無理じやと  
言う割りには

こちらからは  
蜜がしとどに  
溢れてきておるぞ

ずぶい

ぬぢゅ

じゅぶい

ずぢゅ

ぢゅぶい

んーっ  
そんな、  
うごかない、  
こいあ♡

ぞく

ぞく

やの

ど、どうして...  
これ、なんで、  
わからない...

ちゅく  
あふ

ほうほう  
なんとも愛らしい  
声を出しおこて

あの

ほんの

どうして……!?  
あんなに苦しいと  
思ったのに



ああ  
ひゅん  
ああ

ぐちゅ  
ぐちゅ

ぐちゅ

ぬちゅ  
ぬちゅ

人の姿を  
真似ていようと  
所詮は下等な妖

はあん  
はあん

なのに、  
だというのに  
今はもう、

獣の性は  
隠し切れぬと  
見える



そろそろ  
限界かのう

ぐちゅ  
クン、射精る  
受け取り  
なされ!

体中しびれて、  
あつくなくて、  
何も考えられないくらい

えん、あじ  
限界っていつ  
ふあああ

キモチ、イイ

だ……めえ  
もやうあ

やん  
はん  
ん

じゅぷ

ず  
ず  
ず

じゅぷ

ひん  
ああ

ほ  
あ

ぐん

ぐん



あついの  
でてるうの  
はあああ  
あ

うあああ  
なかに  
あ

ド  
グ  
ン

あついの  
ひっあ  
なかに  
ん

びゅん

びゅん



ぬっ

次は彼らの  
相手を頼むぞよ  
だいふ待たせて  
しまったようじゃ

ああ...熱い...  
でも、これで、  
聖が...救われ...

これでは...

また、終わらない？  
続くのですか  
この、行為が...



ひん...んぐんぐん

はん...はん

びゅく  
くん

まだまだ、手が空いているではないか

はあ、もうか、堪任して、あ、あ、あ



だめです、そのは、不潔

ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ

ああ、ああ、ああ、ああ

ず  
ず  
ず

じゅ  
じゅ  
じゅ



あ

あ

あ

ん

ん

たぶん

たぶん

ん、は、は、あ、あ

ぐちゅ

ぬちゅ

ずりゅ

あ、あ、あ、あ、あ、あ

ほれほれ、下も休みではありませぬぞ

ズ  
ズ  
ズ



本来、妖怪風情に  
御仏の慈悲など  
あろうはずもないが

そなたの誠意  
しかと見届けた

必ずや  
聖やそなたに  
御仏の御加護が  
あるであろう

いったい  
何度、果てたのか  
もう数えること  
すら疲れました



だがこれで良い  
良いのです…  
これで…

次は檀家の民も  
共に呼び、教えを  
説くのもよいろう

では、また  
その時は頼みますぞ  
毘沙門天の  
御弟子殿

これで、聖が  
救われるのであれば  
私など…

しかし領主様、  
本当に約束通り  
聖の封印の中止を  
奏上なさるので  
ございますか？

ふん、愚か者めが  
妖怪を助けるなどと  
世迷言を吐く聖を  
だれが助けようか

既に封印の儀のため  
手だれの陰陽師や坊主共が  
向かつておる頃じゃ  
其の妖怪が多少おつても  
物の教ではなからう

なんと！  
では此度の  
ことは……

言ったであらう  
“余興”じゃと  
ま、なかなか  
楽しめたがのう

……

そう……  
やっぱり思った  
通りだった

こうなると、  
わかつては  
いましたが

だから  
あれほど言った  
というのに

あなたは、  
愚かですよ  
御主人……本当に、  
愚かです……

## 前書き + 後書き

- はじめましての方、乙であります。  
毎度毎度の方、今回もまた懲りずにこんな表紙ですいません。  
見た目は一般人、中身はえる親父の理です。
- いち早くというか、もうとっとと早く描いたもん勝ちだということで  
夏の新作、東方星蓮船より寅丸星ちゃん本です、うっかり。  
ハイパー所見殺しと名高いくるんくるんレーザーで初回プレイは  
敵え無く散りました、うっかり。未だ持ってNormal 5ステで停滞中ですよ。  
まじめでどじっことかいじめられるために出てきたようなもんじゃんよー  
ということで俺のS属性に火がつかしました。クリティカルヒット、ことわりはしんだ。
- 非常に優秀（笑）らしい星ちゃんですが  
おまけテキストだと、聖が捕まったときも工作中でしたとか  
どうなのよということで今回のお話。  
どうせなら交渉してましたとかありかと思ひまして候。
- 星、星くん、星さん、星ちゃん、どう呼ぶかけっこう悩みどころ。星ちゃんが一押し。  
ナズーリンは通常時はご主人、2人の時には是非とも星と呼び捨てにして欲しいっす。  
多分にもれず俺もナズ星派です。  
ここぞという時にうっかりなどじっこ上司と、そんな上司を手玉にする優秀な部下ハアハア（`д`）
- 今回の表紙は見ての通りとらドラをインスパイア。  
正確に言えばスピノフの2巻なんだけどスピノフだと  
タイトルロゴが違うのでそこだけ原典準拠で。  
アニメのタイトルの書き方もありだったかなあ。  
星ちゃん見て、とらだなあ、じゃあとらだからとらにしようかという一発ふいーりんぐ。  
表紙先行だったせいもあって妙にロリロリバスターズなとらになっちまいました。
- 非想天則。結局夏コミ以降はこればっかやってみました。  
新キャラとかかきめていろいろと使った拳句、メイン使用キャラは射命丸文のまま。  
多少弱くなったって使い慣れたキャラが一番。速けりゃ強いさ。  
でも守りの要だけは無理。

- 新作ということもあって  
どんどん書きたいねたが湧いてくるので  
しばらくは星蓮船で。  
次の参加イベントは冬コミ。  
おそらくは、この本の  
続きっぽいものになると思います。

2009年10月の頭  
二徹して朦朧とした意識の中で

理

初描きムラサ船長  
なんかすげー描きやすい





## チラシの裏的なこと

今回の話というか、星蓮船組のいた時代って平安時代じゃん。  
まともに考えたらパンツとかあるわけない。じゃあどうするかで調べても全く出てこない。  
ということで妥協案として「褌」で描けばいいんじゃないかと脳内自己完結。  
いちばんパンツに近い形状の「もっこ褌」なるものを採用。  
ぶっちゃけ片側結びの紐パンだし。

そういうわけで、この本で星ちゃんがつけてるのはパンツじゃないです。  
パンツじゃないからはずかしくないもん！

これが言いたかっただけっす！

## 『とらマル！』

発行 にゅうたいふ研究所  
発行者 理  
発行日 2009/10/11 (日)  
 東方紅楼夢 5  
印刷 ねこのしっぽ 様  
HP  
<http://www.geocities.jp/kotowarinari/>  
E-mail  
[kotowarinari@hotmail.com](mailto:kotowarinari@hotmail.com)

無断転載・複製禁止です  
それがアブソリュートジャスティス



東方星蓮船 FAN BOOK

『とらマル!』

2009 Autumn

にゅうたいふ研究所

PRESENTS